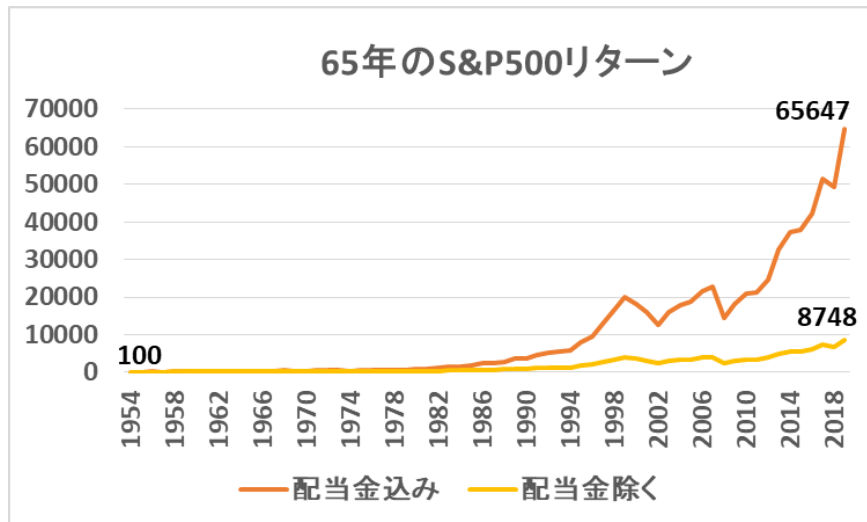


## ATTENTION

### 配当金のパワーは株式投資の源泉



コロナウィルスの感染拡大で、3月には2月の高値からS&P500指数は、33.9%下落、その後、大方の見通しに反して、6月前半には3月の底値から44.5%上昇、後半には感染再拡大で雲行き怪しくと、まさにジェットコースターの様ですが、ここで見ているS&P500指数には、実は配当金が入っていません。このように市場が大きく上下して、我々が一喜一憂している間も、配当金は着々と出ています。このグラフは、2019年まで65年間のS&P500指数と配当金込みのS&P500指数のパフォーマンスを比較したものです。配当金込みのS&P500指数とは、受け取った配当金をS&P500指数に再投資することによる指数を意味します。S&P500指数だけで見れば、65年間に87.5倍になったということですが、配当金も含めれば、656.5倍になっているのです。ということは、上昇幅に配当金が果たした役割は、86.6%。実はパフォーマンスのほとんどが配当金だったのです。このように、コロナウィルスで市場が大騒ぎしていても、底流に流れている配当金を見て、長い目で臨んでいることが、もっとも居心地のいい投資法といえるのです。

## COLUMN

### 借金はするな！

コロナウィルス対策で、国の緊急支援策が大々的に打ち出されていますが、中身を見ればほとんどが融資。低利とはいってもいずれ返さなければならぬお金です。金利が安いから、借りておかなければ損とばかりに、とりあえず借りておくという事例もありますが、すでに借入れがあれば、その上に上乗せということになります。コロナウィルスのような突発事象を見越して、キャッシュを蓄えておくなり、借金なしにしておくことが、このような時に大事なことがわかります。

同じことが、他の事例でも言えます。たとえば、クレジットカード払いを複数回払いにすると、その場は気軽にできてしましますが、「手数料」と称して、年率14%もの法外な金利を取られるのです。また銀行のカードローンなど、若者向けに盛んに宣伝していますが、金利は14.5%。銀行系もあるサラ金にいたっては18%！預金金利がゼロの中、借りるほうは法外な金利を徴求するのです！

さらにアパート・ローンによるマンション投資です。スルガ銀行の書類改竄による融資、カボチャの馬車事件は記憶に新しいところですが、こちらは上の事例よりもっと深刻です。サラリーマンでも億を超える融資が容易にできてしまい、不動産オーナーになった気分を味わえて、すっかり「大家さん気分」。ところが実態はローン返済が80歳、不動産価値はどんどん下がる、収支は、管理費、修繕費用、空室、固定資産税などコストが圧迫し、カスカスというところが通常です。年齢を取ってからしなくてもいい苦労を背負い込むことはありません。ましてコロナウィルスで解雇や減給ともなれば、事態はさらに悪化します。

## MARKET

	(6月末)	(5月末比)
日経平均	22,288.14円	+410.25円 (+1.88%)
NYダウ	25,812.88ドル	+429.77ドル (+1.69%)
米ドル	108.00円	+0.10円 (+0.09%)

## 今月の言葉

人間が生きていく目的は、  
その自己修養・完成のためであって、  
外面的な偉業をなすよりも、  
自らの内面を充実させるほうが大事である。

- ゲーテ

## 役人が国を亡ぼす

コロナウィルスにより、様々な国のシステムの遅れが露呈しています。例をあげれば、枚挙にいとまがありません！

1. 当初PCR検査は保健所を通すことになっていて、それがネックで検査が進まなかった。保健所はパンク。
2. 役所の縄張り意識が強く、厚労省は、文科省管轄の大学病院で検査させたがらない。
3. 病院があふれるのが嫌で、検査を制限しているとの保健所長の話も(後に所長は処分された)
4. 雇用調整助成金の手続きが複雑すぎて、緊急支援のための支給が、いつまでたっても進まない(6/5時点で325億円)。米国では4月初旬に、たった4日で4兆円支給された。
5. PCR検査を大量にできる日本発の画期的手法は、日本では承認審査に時間がかかるため、米国で先に申請
6. オンライン診療を医師会が渋々受け入れたが、コロナウィルス感染の期間限定。
7. 教育委員会や学校は、オンライン授業に消極的。
8. 他の国にはすでに提供している日本発のインフルエンザ薬、アビガンは、未だに日本では承認されていない。
9. 1人10万円支給のオンライン申請は、多くの自治体で、システム欠陥のため停止に追い込まれた。受け付けたデータを紙に出力して、結局は手作業に。
10. マイナンバーカードのパスワードがわからず、役所にいけば数時間待たされ、密の状態に。
11. 家賃支援や学生支援の給付金手続きに、確定申告書、給与明細、契約書などの書類の準備が必要。
12. 持続化給付金の支給では民間委託の選定が不透明。役所と業者のなれ合いの虞れ。

13. 厚労省が立ち上げた新病院支援システムは、本来のシステムが使えず、二重投資に。既存システムは残ったままで、業者のいい飯の種に。

14. 役所は専門家不足で、システム発注能力が不十分。
15. つぎはぎだらけで新しいシステムが乱立し、結局はつじつまが合わなくなり、つくったシステムはお蔵入り。
16. 国の手続きで、役所に行かずオンラインで完結できるものは、たったの7.5%。国土交通省は2.8%、農林省は1.3%。役所には「来る」ことが当たり前という役人意識。
17. 省庁間でのテレビ会議、テレワークもままならない。
18. 各省庁のLANは別々。統合には、自前のシステムに手を突っ込まれたくない縄張り意識と甘い汁を吸ってきた納入業者の抵抗がある。割を食うのは、非効率なシステムに高い価格を負担させられる国民。
19. 日経新聞によれば、コロナウィルス対応の2度の2020年度補正予算で、デジタル化関係費は全体の1%程度とごくわずか。政府・役所のデジタル化意識は希薄。
20. 新しい事業を始める際に、数多くの書類や煩雑な手続きが必要。世界銀行の法人設立分野のランクで、190か国中106位。
21. 法人設立手続きの際に、代表者の印が必要。
22. 車を売買して名義変更する際には、運輸局に紙の車検証を取りに行く必要がある。

2000年、当時の森首相が湯呑をもって、PCの前に座り、e-Japan戦略と称して「5年以内に世界最先端のIT国家となることを目指す」と宣言しましたが、結局は20年やったふりで終わったようです。まともに信じると人生を間違えます。

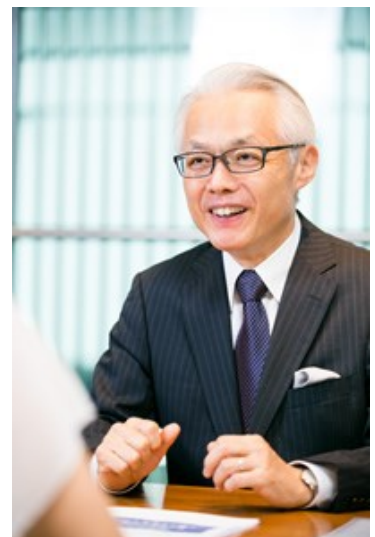
## まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売りやすい商品をお客様に売っていただくのではなく、お客様にもっとも適した金融商品やお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観をもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス  
代表 尾藤 峰男

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス  
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386 FAX: 050-3156-1072  
携帯：070-5567-3311 電子メール：info@bfsc.jp